

2025.10.21.Tue

いしぐろひろあき x 川上りえによるアート・ワークショップ

東川の土で地球をつくる 東川町で地球と対話する 参加者募集



わたしたちが暮らすこの地球のどこにでもあるものが土と植物、そして水と空気です。わたしたちは日々これらと接触していますが、その出会いは冷たく、粗雑で丁寧な関わりをしていないのが通常です。自分の家の玄関の前の土の色を正確に言える人はまずいないでしょう。土の色、葉の光の反射、水の肌理、空気の匂い、これらは場所や時間が違えば違うものです。この中から今回は土に焦点をあて、まず土と対話的關係を築こうと考えています。東川の土はいったいどんな土でしょうか。東川の土はこの豊かな地球の一部です。その土とあらためて出会うことで、わたしたちの地球についての学びを開始します。それは感性にうったえる驚き（センス・オブ・ワンダー）を与えてくれるはずです。一緒にこの学びの体験をしませんか。あなたの参加を楽しみにしています。

いしぐろひろあき
川上りえ

開催日時：2025年10月21日（火）16：00—18：00

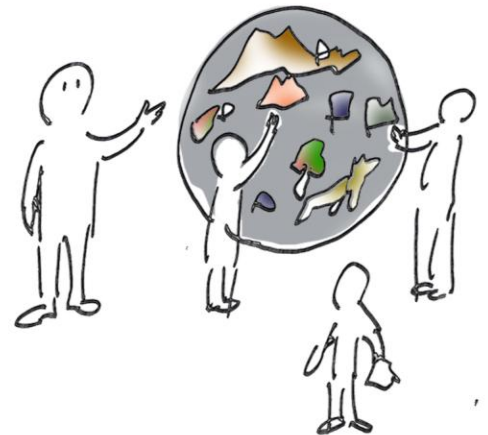
（参加者は開始15分前までに会場にお越しください）

開催場所：東川町複合交流施設せんとぴゅあII 体験室
（北海道上川郡東川町北町1丁目1番2号）

参加者：中学生以上15名程度

応募：裏面記載のQRコードよりお申し込みください。

先着順で、定員に達し次第募集終了



主催：写真文化首都「写真の町」東川町

所管：東川町役場文化交流課

協力：ASOBIBA！

実施責任者：いしぐろひろあき

協働アーティスト：川上りえ

問い合わせメールアドレス：inquiry-office@rikkyo.ac.jp

※件名に「2025東川町」とご記入ください。



アート・ワークショップ

東川の土で地球をつくる・東川町で地球と対話する



山や畑、街などから採取した東川の土をつかって地球をイメージしながら創作するワークショップです。

ワークショップの流れ：

土の浄化



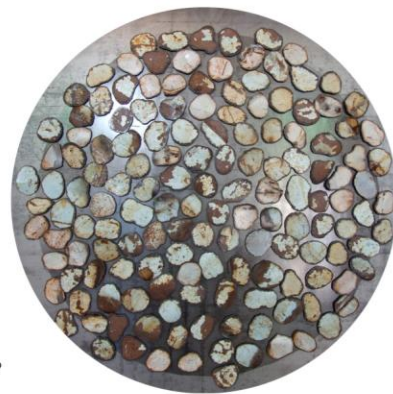
鉄板の破片や地球をイメージして切り出した厚紙に土を塗る。



大きな鉄の円盤に皆さんの土の破片を配置して地球を作る。



完成した作品を皆で鑑賞



開催日時：2025年10月21日（火）16：00—18：00

（参加者は開始15分前までに会場にお越しください）

開催場所：東川町複合交流施設せんとぴゅあII 体験室

（北海道上川郡東川町北町1丁目1番2号）

参加者：中学生以上15名程度

応募：<https://forms.gle/5P5Kgu7NZn2VwGNu5>

申し込み専用QRコード



こちらのQRコードより
お申し込みいただけます。

備考

- ・ワークショップで使用する東川町の土は、主催者側で用意します。
- ・参加者の方は飲み水、鉛筆、はさみをご持参ください。
- ・ワークショップで作成された作品は後日せんとぴゅあに展示し、一般公開します。
- ・当日の様子は個人が特定されない形で録画録音される予定です。



実施責任者

いしぐるひろあき Hiroaki Ishiguro

教育心理学者、ワークショップ・ペダゴジスト。博士（教育学）。宮城教育大学助教授、北海道大学助教授、立教大学教授を経て現在立教大学特別専任教授。その間、カナダ、アメリカ、スウェーデンの各大学において客員研究員となる。発達心理学、教育心理学の研究者であり、同時にアートに基づいたワークショップのデザインとファシリテーションを国内外で数多く実施。

https://www2.rikkyo.ac.jp/web/hiro_ishiguro/



Hiroaki Ishiguro



協働アーティスト

川上りえ Rie Kawakami

美術家・彫刻家。素材のもつ表情や文脈を手がかりに、物質と非物質の関係、ミクロとマクロの類似性、個人と集団の間に生じる価値の歪みなどについて、人知を超えた領域からの見方を想定し、生命への問いかけの可視化を試みている。近年は鉄や樹脂を使った作品を多く制作している。北海道を中心に国内外で活動。2012年 札幌文化奨励賞受賞（札幌）、2021年 令和3年度北海道文化奨励賞受賞（北海道）、近年はフラット・アンド・ダイナミズムを東川町、上川町でも開催。

<https://erikartgallery.wixsite.com/riekawa>



Rie Kawakami



写真文化首都